

中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年9月台風18号における速報～

217mm(時間最大35mm)の雨

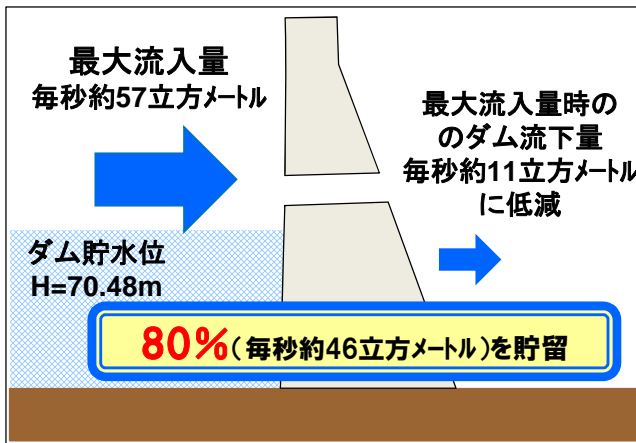
中筋川ダム上流域において、9月16日1時～9月17日18時にかけて **累計約217mm(時間最大約35mm)**の降雨となりました。

洪水貯留準備操作により中筋川ダムの貯水位を約50cm低下

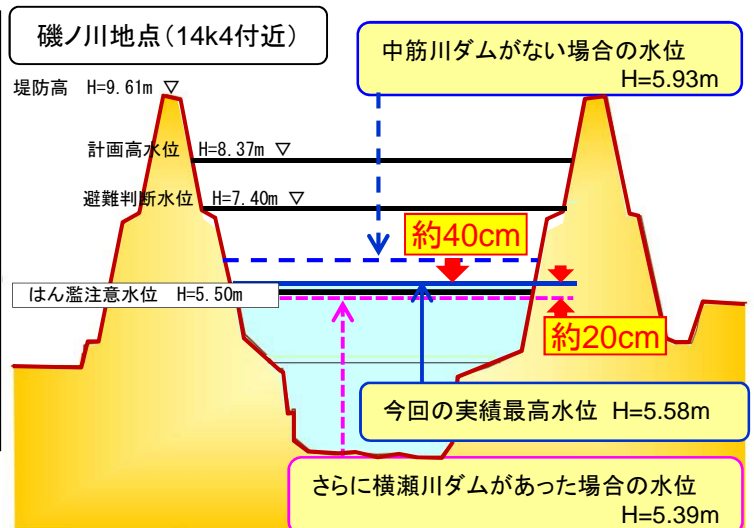
大雨に備えてダム貯留量を増やすため、平成29年9月15日11時00分から洪水貯留準備操作を行って貯水位をH=67.5mから約50cm低下させ、洪水貯留に備えました。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況
(9月17日17時40分)



※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

中筋川ダムにより80%を貯留

中筋川ダムへの最大流入量**毎秒約57立方メートルの80%を貯留**し、ダム流下量を**毎秒約11立方メートルに低減**しました。

中筋川ダムにより河川水位を約40cm低減

中筋川ダムの防災操作により、**磯ノ川地点で約40cm水位を低減**させました。
建設中の横瀬川ダムが完成していた場合は、更に**約20cmの水位低減効果が期待**できます



磯ノ川地点(9月17日18時30分撮影)

※本資料の数値等は推定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

中筋川ダムにより河川水位を低減 ～平成29年9月台風18号における速報～

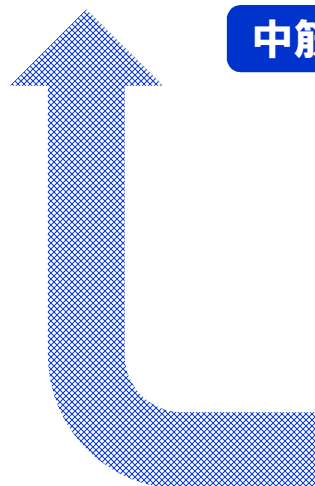
中筋川ダムの防災操作後の貯水位 H=72.59m

(9月18日9時00分)



約1,244千m³を貯留

中筋川ダムの防災操作前の貯水位 H=67.11m



(9月16日9時00分)